

## 平成30年度研究推進支援プロジェクト研究成果報告書

### 1. 研究の概要

プロジェクト名	高等教育・教育課程の質の保証・向上を図る「総合的学習指導法」の内容に関する研究		
プロジェクト期間	平成30年6月～平成31年2月		
申請代表者 (所属講座等)	菅沼 敬介 (教職教育院)	共同研究者 (所属講座等)	津川 裕 (生活総合教育講座) 福重 秀人 (教育学部非常勤講師)
取組方法・取組実績の概要	<p>&lt;研究の内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総合的な学習の時間で育む資質・能力に関する文献調査</li> <li>2. 「総合的学習に関する科目」の在り方、求められるものに関する文献調査</li> <li>3. 「総合的学習に関する科目」の授業実践研究</li> <li>4. 「総合的学習に関する科目」の受講学生の意識の変容と指針の提示</li> </ol> <p>&lt;研究の方法・進め方&gt;</p> <p>「1.」「2.」の文献調査であるが、実際の小学校現場での実践事例を踏まえて研究を深化させたため、申請時の実施計画以上の質となっていると考える。しかし一方で、実際の小学校現場での実践事例は、質問紙調査やインタビュー調査の充実を図ることができなかつたため章として成立させることができなかった。</p> <p>「3.」は、それに対応する科目の「総合的学習指導法」の授業を充実させたために、申請時の実施計画以上の成果となった。</p>		
研究成果の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総合的な学習の時間で育む資質・能力に関する文献調査 総合的な学習の時間で育む資質・能力を総合的学習の時間の本質とし、 ① 主体的に学びに向かう姿勢 ② 教科の問題解決とは一線を画した、スケールの大きさの違う学習過程 ③ 課題探究する中で、必然的に自然的に生まれる協同的な学び の3点が明らかとなった。</li> <li>2. 「総合的学習に関する科目」の在り方、求められるものに関する文献調査 「総合的学習に関する科目」の実践計画の骨格となるのは ① 実感を伴った「指導法」になるために、「指導法」を総合的な学習の時間の本質に重ね展開し「主体的に学びに向かう姿勢」を育む ② 実践力を身につける「指導法」になるために、課題解決・探求型の授業を展開し、実現の可能性のある「単元計画作成」する力を育む ③ 指導力を身につける「指導法」になるために、作成した「単元計画」子供の実態や学校・地域の状況に合わせ、更に改良しようとする力を育む の3点であることが明らかとなった。</li> <li>3. 「総合的学習に関する科目」の授業実践研究 「単元計画作成実践」を行い、受講学生に総合的な学習の時間の指導に対しての基礎と意欲と自信を育むことができた。</li> <li>4. 「総合的学習に関する科目」の受講学生の意識の変容と指針の提示 事前調査と事後調査の結果、受講学生にとって大変有意義な授業が展開され、主体的に総合的な学習の時間の指導に向かおうとする姿勢が育まれた。</li> </ol>		
外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法等について〔 <input type="checkbox"/> (該当事項) にチェック方願います。〕			
外部資金獲得申請 (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金 <input type="checkbox"/> 受託研究費 <input type="checkbox"/> その他 ( )	研究成果の公表方法 (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 学会 (国内・国外): 日本生活科総合的学習教育学会 <input checked="" type="checkbox"/> その他: 各種研修会、現職研修会での実践